

今までに「正しいと思ったこと」をできたことやできなかったことはありますか。振り返りましょう。

- ・私は友達の悪口を言う人を止めたことがあります。
- ・私は正しくないことをしている人を見かけても止めることができませんでした。これからは、太郎のように勇気をもってつたえられるようにしたいです。

ねらい

★太郎の考えと行動について話し合うことを通して、正しいと判断したことは自信をもって行おうとする判断力を育てる。

工夫

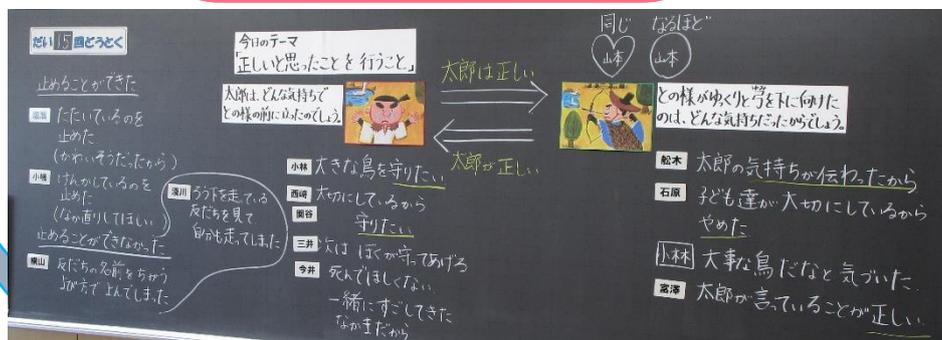
- ・表現活動の工夫「役割演技」  
全体の前で役割演技をした後に、よかったところや考えたことを伝え、考えを深める。
- ・話し合いの工夫  
子供相互の考えを深める「伝えタイム」を設定し、多様な考えに触れられるようにする。互いの考えを伝えあったら、「共感」や「納得」のサインで意思表示する。

3年

正しいと思ったことを行う

(A 善悪の判断、自律、自由と責任)

よわむし太郎



殿様がゆっくりと弓を下に向けたのは、どんな気持ちだったからでしょうか。

太郎はどんな気持ちで殿様の前に立ちはだかったのでしょうか。

太郎の気持ちが伝わったからだと思うよ。



どうして殿様の前に立ったの？



大きな鳥を守りたいからだよ。次はぼくが守ってあげたいな。

協議会を通して学んだこと

- ・アンケートの活用…エピソードを偏らせないためにも、時には意図的指名をしたり教師が紹介したりすることも必要。
- ・役割演技…①見る側に視点を与える。  
②場づくりをするなどして、場面の雰囲気伝える。  
③どのような役になるのか伝える。
- ・発問の設定の仕方…「よわむし太郎」という題名の意図や殿様の存在など、時間を掛けなくても一言確認するだけで違うこともある。(※内容項目がズレないように)